

取扱説明書

セルバックス・真空用フィルタ
VSFB シリーズ

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品には、さまざまな安全策を講じておりますが、本製品の使用にともなう事故の発生を防止し、安全にご使用いただくために、次の事項を遵守していただきますようお願いいたします。

① 使用者について

一般産業機械用部品として、設計・製造されたものです。よって、本製品に関する材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識と経験をもった人が取り扱ってください。(ISO 4414 *1 JIS B 8370 *2)

② 選定について

お客様によってそれぞれ使用されます用途・用法が多岐・多様にわたるため、当社はそれすべてを把握することはできません。よって、選定にあたっては、お客様の用途・用法に合せた製品をお選びください。

なお、お客様の仕様に合わない製品をご採用いただきますとご要望される性能が発揮できないばかりか、思わぬ事故に結びつくことがありますのでご注意ください。

③ 取扱方法について

取扱につきましては、本文中に記載しておりますのでそれらを熟読し、十分にご理解をいただいた上でご使用ください。

なお、本文中に記載されているものは、取扱方法のみでなく取扱を誤った場合にもたらされる危害の程度及び警告の緊急性を以下の3つのランクに分類して表示をしております。表示の意味をよく理解していただいてから本文をお読みください。



危険： (DANGER)

取扱を誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ、危険発生時の緊急性（切迫の度合い）が、高い限定的な場合。



警告： (WARNING)

取扱を誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。



注意： (CAUTION)

取扱を誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

※1)ISO 4414 :Pneumatic fluid power・・・Recommendations for the application of equipment to transmission and control systems.

※2)JIS B 8370:空気圧システム通則

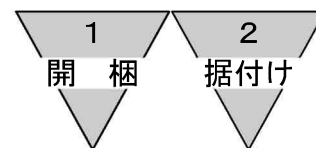
目 次

VSFB シリーズ

セルバックス・真空用フィルタ

取扱説明書 No. SM-437636

1. 開梱	3
2. 据付け	
2. 1. 設置環境	3
2. 2. 据付け方法	3
2. 3. 配管方法	4
3. 適切な使用方法	4
4. 保守	
4. 1. 点検について	5
4. 2. メンテナンスについて	5
5. 仕様	
5. 1. 製品形番	6
5. 2. 仕様	6



1. 開梱



注意 :

- 1) 配管実施寸前まで包装袋は、外さないでください。
 - ・ 包装袋を配管接続作業以前に外すと、配管ポートから異物が入り、故障、誤動作の原因になります。

- 1) ご注文の製品形番と製品に表示されている製品形番とが、同一であることを確認してください。
- 2) 製品外部に損傷を受けていないか確認してください。

2. 据付け

2. 1. 設置環境



警告 :

- 1) 腐食性ガス、引火性ガス、爆発性ガス、化学薬品、海水、水蒸気の雰囲気又は付着する場所では使用しないでください。又、絶対に吸い込まないでください。



注意 :

- 1) 下記環境での使用は避けてください。
 - ・ 周囲温度が製品の使用温度範囲を超える場合。
 - ・ エアが凍結する場合。
 - ・ 振動・衝撃のある場所。
 - ・ 水滴や切削油がかかる場所。
 - ・ 多湿で温度変化により結露を生じる場合。
 - ・ 潮風、海水の飛沫がかかる場合。
 - ・ 腐食性ガス、液体および化学薬品の雰囲気がある場合。
 - ・ 直射日光にあたる場所。

2. 2. 据付け方法



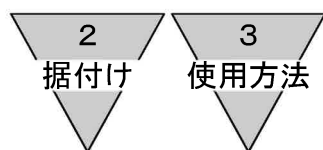
警告 :

- 1) 製品の取付けには、配管で支持する方法はとらないでください。
 - ・ 本体を取付け固定してください。



注意 :

- 1) 取付を行っている時や取付けた後、本体に横荷重を与えないでください。



2. 3. 配管方法



警告：

- 1) 真空破壊用の正圧を絶対に印加しないでください。防爆構造ではありません。また、耐圧が低いため、本体の破損により、人体への負傷の危険性があります。



注意：

- 1) 配管の接続は本体の IN、OUT を確認のうえ行ってください。逆接続はフィルタ機能が満足できません。
- 2) 真空側配管は極力短く又内径を太くしてください。配管が長く又内径が細い場合吸着時、離脱時の応答時間の遅れ及び必要吸込流量の確保ができない場合があります。

1) 適用配管チューブについて

配管チューブの外径精度、肉厚、硬度によっては抜け、漏れを生ずることがあります。当社指定のチューブをご使用ください。

チューブ外径精度

ナイロン、ソフトナイロンチューブ：±0.1mm以内

ポリウレタンチューブ +0.1 }
 ニューウレタンチューブ -0.2 } mm 以内

配管前に管内の異物・切粉等を除去のため、管内のフラッシング(エア吹き)をしてください。

3. 適切な使用方法



警告：

- 1) フィルタ本体材質は PC(ポリカーボネイト)ですので、化学薬品の雰囲気、または、付着する場所での使用は避けてください。



注意：

- 1) 真空フィルタにチューブを装着する際は、必要以上の力をかけないでください。フィルタ内部が破損する可能性があります。

●表.化学薬品名

化学薬品名
アルコール全般
シンナー
四塩化炭素
クロロホルム
酢酸エステル
アニリン
シクロヘキサン
トリクロールエチレン
硫酸
乳酸
水溶性切削油(アルカリ性)

※記載薬品以外でも使用できない物がありますので最寄りの営業所にお問い合わせください。

4. 保守

4. 1. 点検について



警告：

- 1) メンテナンスを行う場合は、事前に電源を切り、供給圧縮空気を止め、残圧の無い事を確認してから行ってください。
- 2) 真空用フィルタのフィルタエレメントは、定期的に保守点検を行ってください。エレメントの目詰まりにより、性能低下又はトラブルの原因となります。



注意：

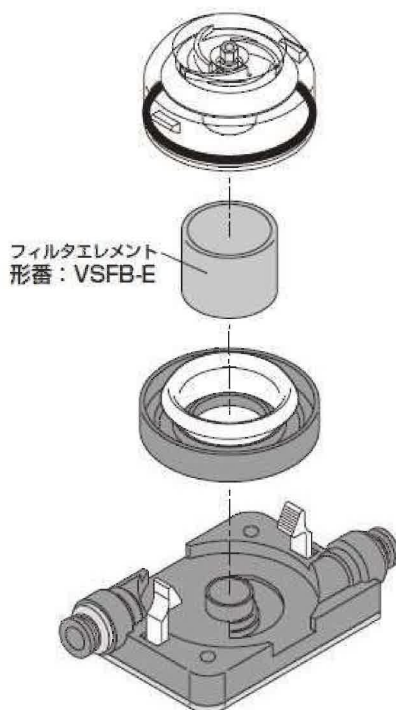
- 1) メンテナンス管理が正しく実施されるように、日常点検、定期点検を計画的に実施してください。
- 2) チューブ交換は必ず空気を止め、残圧が無いことを確認してから実施してください。

4. 2. メンテナンスについて



注意：

- 1) 下図を参考にして、真空用フィルタ交換エレメントをよく理解しフィルタの内圧を大気圧状態にし安全を確認のうえ行ってください。



5 仕 様

5. 製品の仕様

5.1 形番表示

VSFB-1010

④真空側接続口径－パッド側接続口径

記号	内 容
④真空側接続口径－パッド側接続口径	
66	φ6ワンタッチ継手－φ6ワンタッチ継手
88	φ8ワンタッチ継手－φ8ワンタッチ継手
1010	φ10ワンタッチ継手－φ10ワンタッチ継手
1212	φ12ワンタッチ継手－φ12ワンタッチ継手

●保守部品形番
・フィルタエレメント

VSFB-E

5.2 仕様

項 目	VSFB・VSFU・VSFJ
使用流体	空気
使用圧力 kPa	-100～0
ろ過度 μm	10
使用温度 ℃	0～60（但し、凍結なきこと）